

2021年 私大一般選抜 志願者総数 14%減の背景をデータから探る！

既卒者の減などに加え、総合型・学校推薦型選抜での入学者増も要因

旺文社 教育情報センター 2021年9月30日

2021年の私立大学一般選抜では、志願者総数は対前年で▲14%。14年ぶりに減少した前年に続き2年連続の減少で、落ち幅は前年の▲2%よりも拡大。大学の規模によらず志願者は減少した。背景には総合型・学校推薦型選抜での入学者の増加もあると見られる。本稿では弊社調査データとともに、2021年入試の結果概要を振り返る。

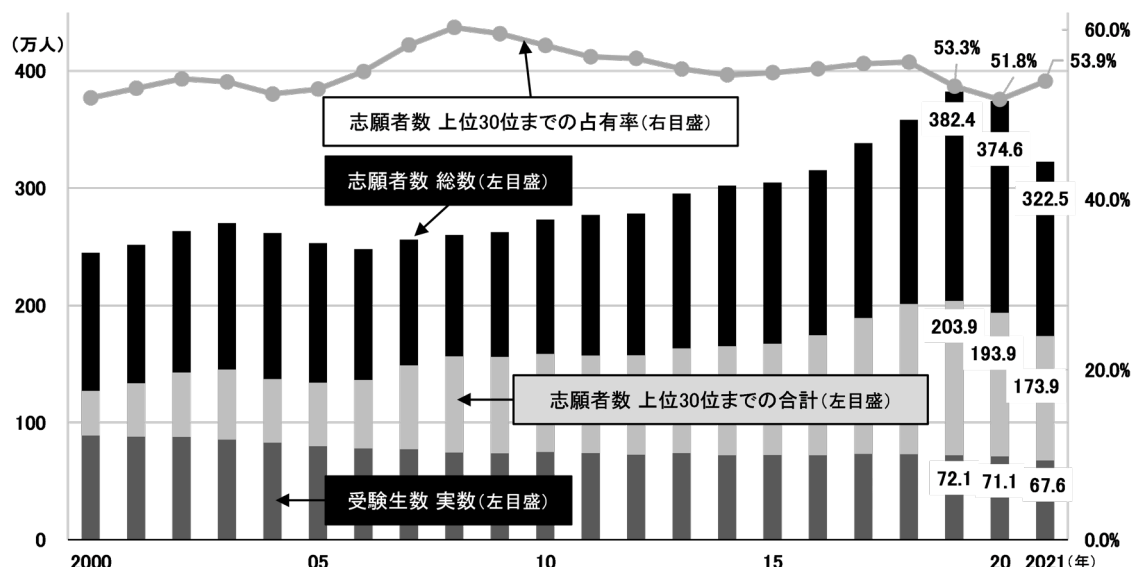
※一般選抜＝大学独自入試と共通テスト利用入試(過年度はセンター試験利用入試)。

■増加し続けていた志願者総数が、減少局面に

受験生数の減少傾向にかかわらず、私立大学一般選抜の延べ志願者数は2007年以降、増加が続いていた。入試方式の多様化、受験料割引制度の拡充、ネット出願導入校の増加、学部・学科の増設などが、受験生の安全志向による併願増につながった。とりわけ近年は、大規模大学の定員管理の厳格化も、併願増をあと押しした

2019年には受験生数72.1万人に対して、延べ志願者数は382.4万人にまで達した。2020年は翌年に入試改革を控え、受験生は超安全志向に。大都市圏の大規模校を中心に志願者を減らし、14年ぶりに志願者総数は減少した。

【図表1】私立大学 一般選抜の志願者総数(延べ数)の推移



※志願者数：旺文社調査による判明分。受験生数：「学校基本調査」(文部科学省)より算出。高認(大検)合格者を除く。2021年は旺文社推定値。

【図表2】

私立大学 一般選抜の志願者数が
前年より増えた・減った大学数と、
その志願者数合計の増減(人)
&入学定員別の状況(2020年と2019年の比較)

入学定員			
4,000人以上	2019年	2020年	前年差
増えた[5大学]	316,101	344,446	28,345
減った[15大学]	1,237,017	1,133,795	▲ 103,222
2,000人～4,000人未満	2019年	2020年	前年差
増えた[10大学]	215,143	235,231	20,088
減った[16大学]	465,566	409,711	▲ 55,855

	志願者数の合計		前年差
	2019年	2020年	
増えた[302大学]	1,221,169	1,382,776	161,607
減った[225大学]	2,592,625	2,327,143	▲ 265,482
増減なし[4大学]	6,276	6,276	0

↓ 入学定員の規模別に見ると……

1,000人～2,000人未満			
	2019年	2020年	前年差
増えた[35大学]	384,345	431,111	46,766
減った[46大学]	610,895	538,976	▲ 71,919
増減なし[1大学]	5,849	5,849	0

1,000人未満			
	2019年	2020年	前年差
増えた[252大学]	305,580	371,988	66,408
減った[148大学]	279,147	244,661	▲ 34,486
増減なし[3大学]	427	427	0

※志願者数：延べ数。旺文社調査による判明分。2020年と2019年の志願者数が判明し、比較可能な531大学の数値。

2021年も前年に続いて一般選抜志願者は減少。落ち幅は前年が▲2%だったのに対して、▲14%。受験生数の減少（共テ志願者のうち既卒者は▲19%）、コロナ禍で「超地元志向」となり大都市圏の大学が敬遠されて減少、併願校数の絞り込みで減少、総合型・学校推薦型選抜の合格者増で一般選抜受験生そのものが減少など、これらが積み重なっての大幅ダウンとなった。前ページの図表1は、長らく続いた私立大学の“志願者バブル”が弾け、2020年に潮目が動いた様相を表している。

■2021年は大学の規模に関係なく、志願者数が減少

図表2と3に、「当年・前年とも」に志願者数が判明した大学の比較の概要を示した。図表2を見ると、2020年入試では、入学定員1,000人未満では志願者数が増えた大学が多く、増減の差し引きもプラスだが、定員規模が大きくなるにつれて差し引きのマイナスは大きくなっている。志願動向が大規模大学から中小規模大学へスライドしたものと見られる。

【図表3】

私立大学 一般選抜の志願者数が
前年より増えた・減った大学数と、
その志願者数合計の増減(人)
&入学定員別の状況(2021年と2020年の比較)

入学定員			
4,000人以上	2020年	2021年	前年差
増えた[3大学]	147,798	155,471	7,673
減った[17大学]	1,330,443	1,158,058	▲ 172,385
2,000人～4,000人未満	2020年	2021年	前年差
増えた[3大学]	71,913	73,280	1,367
減った[24大学]	594,079	493,782	▲ 100,297

	志願者数の合計		前年差
	2020年	2021年	
増えた[98大学]	460,832	494,122	33,290
減った[437大学]	3,278,812	2,716,322	▲ 562,490
増減なし[2大学]	1,596	1,596	0

↓ 入学定員の規模別に見ると……

1,000人～2,000人未満			
	2020年	2021年	前年差
増えた[7大学]	162,806	174,527	11,721
減った[74大学]	815,921	657,479	▲ 158,442

1,000人未満			
	2020年	2021年	前年差
増えた[85大学]	78,315	90,844	12,529
減った[322大学]	538,369	407,003	▲ 131,366
増減なし[2大学]	1,596	1,596	0

※志願者数：延べ数。旺文社調査による判明分。2021年と2020年の志願者数が判明し、比較可能な537大学の数値。

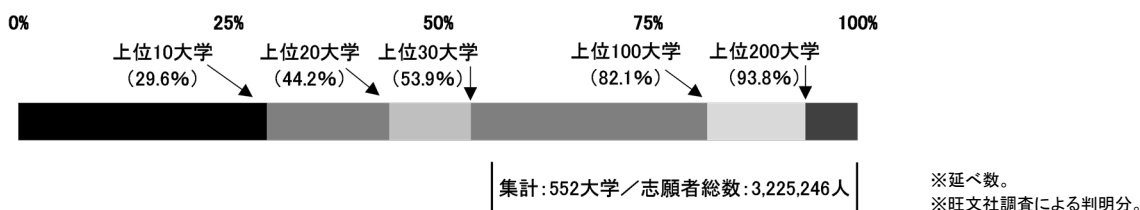
一方、図表3は、2021年入試と2020年入試の比較だ。志願者が増加した98大学の増加数3.3万人に対して、減少した437大学の減少数は56.2万人となっており、増減を差し引きすると52.9万人の大幅マイナスに。前年と異なり、入学定員の規模に関係なく志願者は減っている。

**■志願者数の多い上位30大学で総数の半数超を占め、上位100大学での占有率は8割に達する。
エリア別での志願者占有率は前年と同様、大都市圏が高い**

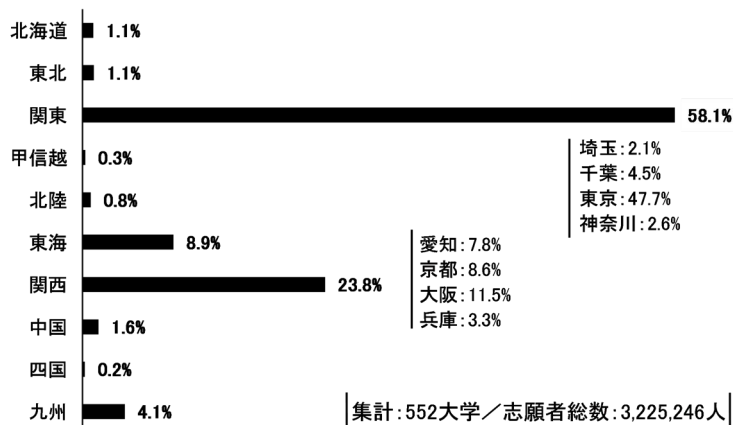
図表4は、2021年一般選抜志願者の総数に対して、志願者数の上位大学による占有率を示したものだ。志願者数の多い上位10大学で総数の約3割を占め、上位30大学の累計で半数を超えている。上位100大学までで見ると8割超まで占めている。2021年入試では全体的に志願者数は減少したため、率の多少の差はあれ、傾向は前年と同様だ（ちなみに、志願者数の上位100大学を見ると、順位に多少の変動はありつつも、顔ぶれに大きな変化はないが、押しなべて志願者は減少。上位100大学のうち、志願者数が減少した大学は87校だった〔2020年は61校、2019年は27校〕）。

図表5は、志願者総数に対するエリア別の割合で、関東・東海・関西の高さが一目瞭然であるとともに、東京だけで47.7%という高い率であることが目につく（ちなみに、全私立大学のうち東京所在大学の占有率は2割弱）。埼玉・千葉・東京・神奈川・愛知・京都・大阪・兵庫の8都府県の合計は88.1%に達している。

[図表4] 2021年 私立大学 一般選抜の志願者総数に占める志願者数の上位大学による割合



**[図表5]
2021年 私立大学 一般選抜
志願者総数に占める
エリア別の割合**



※延べ数。旺文社調査による判明分。
※エリアは大学の本部所在地で分類。

■入試改革&コロナ禍で、総合型選抜・学校推薦型選抜での入学者の割合がアップ！

最後に、私立大学の入試方式別の入学者数の割合を示す。弊誌『大学の真の実力 情報公開 BOOK』のデータを基に図表6を作成した。総合型選抜と公募制推薦を合算で示している理由は、2021年入試改革を機に、従来の公募制推薦を総合型選抜に変更する大学が少なくなかったためだ。

総合型選抜と学校推薦型選抜での入学者の割合は、これまでも上昇傾向だった。なかでも指定校制推薦は顕著で、2021年入試では前年より2.1割もアップして全体の4分の1を占めるに至っている。コロナ禍で、総合型選抜+公募制への志願者は減少、指定校制への志願者は前年並（弊社調査）だったが、大学にとっては一般選抜実施へのコロナリスクがあり、一定の入学者の早期確保という意図にもより、総合型選抜・学校推薦型選抜の入学者の割合が上がったと見られる。

実施時期の早い両選抜での入学者（合格者）の増加は、おのずと一般選抜を志願する現役生の実数減に直結し、既卒者減も加わり、志願者総数全体の減少につながった。

* * *

2022年入試では、総合型選抜・学校推薦型選抜（特に指定校制）への志向は、保護者の意向も相まって継続すると見られる。一方で、前年の反動から、一般選抜の志願者が増える大学もあろう。ただ、基礎数字となる受験生数は減少が見込まれることと、コロナ禍での家計不安などを踏まえると、一般選抜全体の志願者数の反動は考えにくく、減少が予測される。大学にとっては、入学者の入試方式別のバランスもさることながら、入学者そのものの確保が課題となる。

(2021.9 加納)

【図表6】私立大学 入試方式別の入学者の割合の推移

	1年次 入学者数(人) ※有効回答 集計分	入試方式別 入学者の割合						
		一般選抜	総合型選抜 +公募制推薦	(総合型 選抜)	(公募制 推薦)	指定校制 推薦	付属校・系列校 推薦	その他
2015年	398,793	49.4%	20.5%	9.2%	11.3%	18.4%	6.9%	4.7%
2016年	406,912	49.0%	21.0%	9.4%	11.5%	18.6%	6.8%	4.6%
2017年	412,526	47.8%	21.8%	10.0%	11.8%	18.7%	6.6%	5.1%
2018年	419,108	46.8%	21.9%	10.4%	11.5%	19.1%	6.9%	5.3%
2019年	419,059	45.4%	21.6%	10.6%	11.0%	20.7%	7.1%	5.2%
2020年	427,147	43.5%	21.4%	11.0%	10.4%	22.7%	7.3%	5.2%
2021年	402,056	41.4%	22.3%	13.2%	9.1%	24.8%	7.3%	4.3%

※『大学の真の実力 情報公開BOOK』(旺文社)のデータにより作成。

※一般選抜＝大学独自入試と共通テスト利用入試(過年度はセンター試験利用入試)。 ※総合型選抜＝過年度はAO入試。

※その他＝大学の入試分類により、社会人入試、外国人対象の入試など。スポーツ推薦などを含む場合がある。そのため、総合型・学校推薦型の割合が低めに出る傾向がある。

※有効回答大学・学部数：2015年＝458大学1,377学部／2016年＝476大学1,431学部／2017年＝479大学1,475学部／2018年＝477大学1,507学部／2019年＝479大学1,532学部／2020年＝491大学1,577学部／2021年＝475大学1,547学部

※大学により、入試方式別の入学者数の回答に際して「公募制と指定校制の合算で回答」「指定校制と付属校・系列校は非公表」などのケースがある。「入学者総数」と「入試方式別の入学者数の合計」が一致しない場合、入試方式別の明細がない場合は、集計から除いている。

次ページに「2021年私立大学一般選抜 志願者数 100位の一覧」を掲載

■2021年 私立大学 一般選抜(独自+共テ)志願者数の順位別シェア(延べ数=併願あり)

旺文社 教育情報センター-2021.9

◆私立大学 一般選抜 志願者数

2021年志願者	2020年志願者	増減(人)
3,225,246	3,745,780	
* 552大学	* 547大学	
10位まで	10位まで	
956,097	1,053,306	-97,209
29.6%	28.1%	
20位まで	20位まで	
1,426,627	1,588,566	-161,939
44.2%	42.4%	
30位まで	30位まで	
1,739,085	1,938,787	-199,702
53.9%	51.8%	
40位まで	40位まで	
1,956,190	2,187,974	-231,784
60.7%	58.4%	
50位まで	50位まで	
2,130,067	2,395,343	-265,276
66.0%	63.9%	
100位まで	100位まで	
2,647,172	3,030,367	-383,195
82.1%	80.9%	
200位まで	200位まで	
3,024,787	3,499,251	-474,464
93.8%	93.4%	

※下段の%は私立大学一般選抜の志願者合計数(判明分)に対する割合。

<備考>

※一般選抜 志願者数判明分(旺文社調査:7月末現在)。

※特別入試等の志願者数を一般選抜の志願者に含む大学は除く。

※非公表の学部・学科、入試方式等がある大学は除く。

※2020年は一般入試(独自+七試)の志願者数。

◆2021年 一般選抜 志願者数100位までの大学(単位:人)

順位	<1位~30位>	志願者数	前年順位
1	近畿大	135,979	1
2	千葉工業大	108,707	6
3	明治大	99,470	7
4	日本大	97,948	2
5	早稲田大	91,659	3
6	法政大	90,956	5
7	東洋大	89,821	8
8	立命館大	83,512	4
9	関西大	79,511	9
10	中央大	78,534	10
11	立教大	65,475	11
12	龍谷大	56,379	16
13	東京理科大	49,301	13
14	専修大	47,381	18
15	同志社大	44,481	19
16	東海大	44,321	14
17	福岡大	44,073	17
18	京都産業大	40,925	15
19	青山学院大	40,123	12
20	芝浦工業大	38,071	20
21	慶應義塾大	36,681	22
22	名城大	35,827	21
23	関西学院大	33,617	27
24	武蔵野大	33,457	25
25	中京大	30,925	24
26	駒澤大	29,902	31
27	帝京大	29,357	23
28	東京電機大	29,326	30
29	東京都市大	27,096	28
30	上智大	26,270	33

順位	<31位~65位>	志願者数	前年順位
31	摂南大	25,292	32
32	神奈川大	24,251	26
33	大東文化大	22,406	37
34	東京農業大	22,187	29
35	南山大	21,891	39
36	愛知学院大	21,346	35
37	明星大	21,018	36
38	明治学院大	20,440	45
39	國學院大	19,345	34
40	工学院大	18,929	42
41	愛知大	18,700	38
42	成蹊大	18,641	41
43	神戸学院大	17,976	40
44	常葉大	17,653	72
45	九州産業大	17,542	54
46	西南学院大	17,433	44
47	学習院大	17,108	58
48	追手門学院大	16,992	56
49	関東学院大	16,149	48
50	桜美林大	15,683	49
51	獨協大	15,670	47
52	文教大	15,368	50
53	甲南大	14,823	52
54	東京工科大	14,805	46
55	大阪工業大	14,669	51
56	武蔵大	14,661	55
57	京都橋大	14,031	64
58	成城大	13,673	65
59	愛知工業大	13,546	63
60	中部大	13,452	53
61	国士舘大	12,924	43
62	国際医療福祉大	12,699	71
63	立正大	12,546	57
64	愛知淑徳大	12,269	61
65	北里大	11,872	67

順位	<66位~100位>	志願者数	前年順位
66	名古屋外国語大	11,658	62
67	大阪産業大	11,445	87
68	大阪経済大	11,387	59
69	杏林大	11,363	70
70	順天堂大	10,711	73
71	武庫川女子大	10,572	68
72	福岡工業大	10,552	75
73	大和大	10,321	96
74	広島修道大	10,123	85
75	昭和女子大	10,036	78
76	東北学院大	9,891	89
77	東邦大	9,728	81
78	東京経済大	9,573	74
79	久留米大	9,559	84
80	日本女子大	9,286	76
81	神奈川工科大	9,035	86
82	桃山学院大	8,997	69
83	金沢工業大	8,799	83
84	名古屋学院大	8,716	60
85	亜細亜大	8,429	82
86	大同大	8,145	90
87	佛教大	8,012	77
88	岡山理科大	7,700	98
89	大正大	7,686	94
90	藤田医科大	7,662	116
91	千葉商科大	7,577	79
92	昭和大	7,496	111
93	東京女子大	7,200	99
94	同志社女子大	7,199	100
95	北海道科学大	7,078	95
96	目白大	6,989	91
97	文京学院大	6,923	80
98	東京家政大	6,912	101
99	北海学園大	6,674	104
100	阪南大	6,663	66

©Obunsha2021